

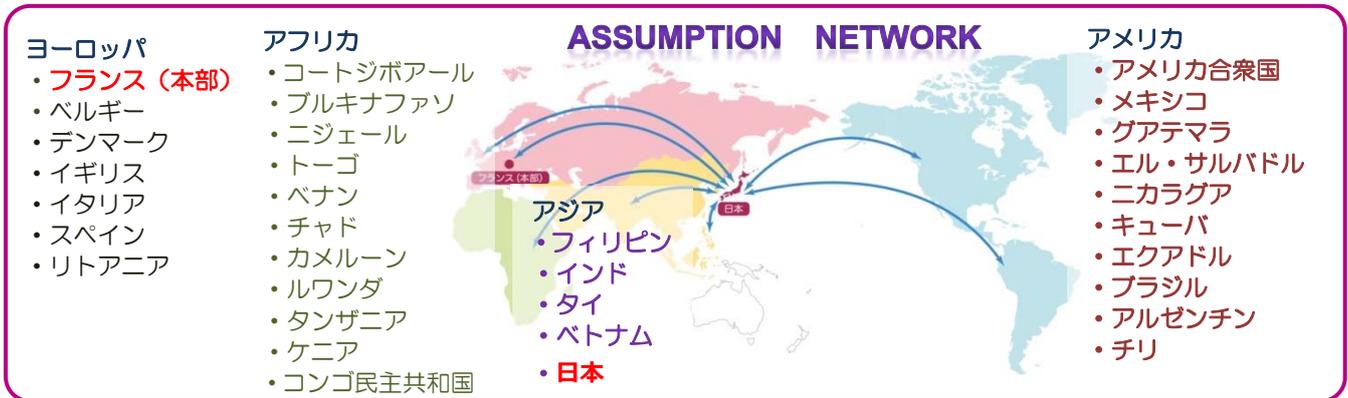
Application for Participation

Associated Schools Project (A.S.P) for Promoting International Education

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution (please use extra sheets if necessary)

1. Description of the Project (プロジェクトの概説)

聖母被昇天学院の母胎となる「聖母被昇天修道会」は、フランスのパリに本部を置き、現在その姉妹校や教育団体は、世界の 30 カ国以上に広がるネットワーク (以下 Assumption Network) をもっている。



2014 年に創立 60 周年を迎えた本校では、Assumption Network を活用した「Assumption Education」として「国際理解教育」「食育」「奉仕活動」の教育活動に取り組んでいる。

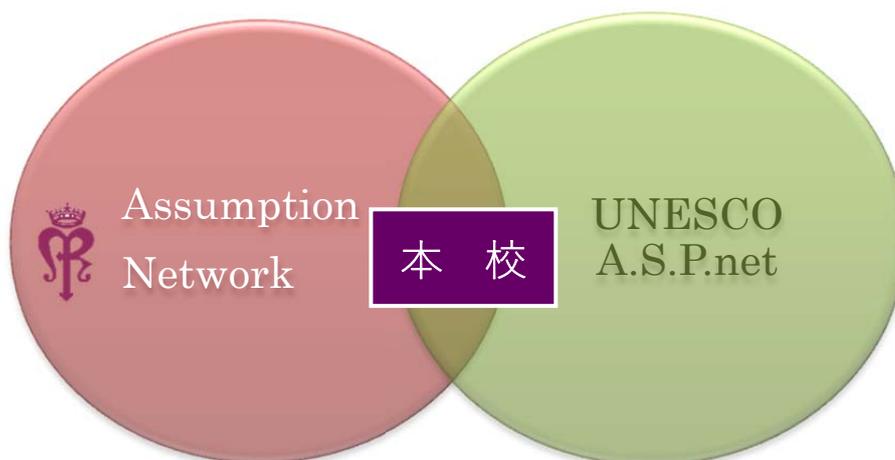
今後は教育活動・成果をさらに深め広げ、「人の心の中に平和の砦を」と詠われている UNESCO の精神に基づく教育活動を行うものとする。

聖母被昇天学院小学校では、創立当初より全学年が「English for Peace」を目標とする英語教育と、Assumption Network を活用した国際交流 (フィリピン・フランス・アメリカ) と自国文化の学習 (礼法) を行っている。このような「国際理解教育」は、国内外の様々な状況を知り、自分たちが恵まれた環境にあることに気付き次の行動へと繋がる。

特に、UNESCO 憲章が宣言している「国際平和と人類の共通の福祉」という目的に向け、1985 年以来、聖母被昇天学院小学校の理念に基づいて行われる節食ランチでの献金や、「お米一握り運動」を継続してきた。また、2014 年度より生活科・総合的な学習の一環として全学年が「食育」に取り組んでいる。菜園活動を通じて、自然環境への配慮の心を養い、健やかな食生活への関心を高めることや、環境問題を取り上げ、動植物との共存や温暖化のための取り組みを考えさせることは、今後本校の Assumption Network のみならず UNESCO ASPnet を通じて共に生きる学びへと発展させていくことを目指している。

2. Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校のモットー「誠実・隣人愛・喜び」を土台として行われる「国際理解教育」「食育」「奉仕活動」は、“自分自身を見つめ、違いを受容する”“他者と協働し世界に貢献する”ということを目指している。現在、Assumption Network の中で得た知見や知識を活かし、UNESCO ASPnet の中での課題共有が可能と考える。



本校の児童の克服すべき課題点として、次の点があげられる。

- (1) 進んで学ぶ …学力向上、コミュニケーションツールとなる英語力向上
- (2) 強く生きる …問題意識と解決能力、将来に向けた向上心
- (3) 神と人を愛する…自尊感情の育成、違いの受容と協働

ユネスコスクール加盟により、国内外 UNESCO ASPnet の新たな繋がりの中で視野が広がり、上記課題の克服に向け発展的な教育活動をすすめることができる。その歩みを通して、児童一人ひとりが自身の使命に気付き、“人の心の中に平和の砦を築かなければならない”という UNESCO 憲章の精神を実現する持続可能な社会の担い手となることを望む。

3. Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

学年の展開内容

	(1) 国際理解教育	(2) 食育
1・2年生 【知る】 受け身から、能動的に物事を解決する力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・Assumption Network により来日する留学生 (フィリピン・フランス) や、地域訪問者 (メキシコ・ニュージーランド) へ日本の遊び紹介し、授業参観や昼食会などでの交流を行う。 ・「礼法」では、和室での正しい立ち居振る舞いを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土の役割、虫の役割を学び、命のリレーを知る。 ・ハーブ・野菜の収穫を体験することで「食べるもの＝命」を実感する。 ・2年は宿泊体験時に箕面山麓委員会の方を招き地域自然観察を行う。
3・4年生 【関心を持つ】 能動的な学習活動の中で、自分の役割をふまえた計画力・実行力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・Assumption Network により繋がる学校と、文通などの交流に取り組み、異文化理解学習を深め、姉妹校の歴史や社会での役割について関心を持つ。また、本校教育活動に関わる外国籍修道女とのつながりを深める。 ・多国籍の外国人が住む地域 (箕面市) とつながり、異文化理解・多文化共生の意識を深める。 ・「礼法」では、茶道を通して日本の伝統文化 (季節の花・菓子・軸、陶芸品等) を広く学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物連鎖を知り、自然環境への配慮の心を養う。 ・ハーブ・野菜の収穫を体験することで「食べるもの＝命」を実感し、健やかな食生活への関心を高める。

<p>5・6年生</p> <p>【考える】</p> <p>【行動する】</p> <p>能動的な学習活動の中で、より高い対応力・協働力を育てる。</p>	<p>・Assumption Network によりつながる学校と異文化理解学習を深め、平和な世界を実現する方策を考える。また、アサンプションカレッジを訪問し現地での交流を行う。(希望者対象アメリカ研修)</p> <p>・「礼法」では、お客様を迎えもてなす作法を学び、他者を重んじる心を育む。</p>	<p>・食物連鎖を知り、自然環境の保全ために人間が何をすべきかを考える力を養う。</p> <p>・ハーブ・野菜の収穫を体験することで「食べるもの＝命」を実感し、健やかな食生活を送るために自分たちが何をすべきかを考える力を養う。</p>
---	--	---

(3) 奉仕活動…全学年

- ・導入…毎週1回行われる「礼拝」時に、世界で起こる社会問題等についての講話を聞く。
- ・展開…ASA(児童会)による節食ランチ募金活動(年3回、地域社会福祉のために等)
お米ひとにぎり運動(年8~9回 釜ヶ崎野宿者のために)

◎ユネスコ教育の柱との関連

Learning to know(知ることを学ぶ)

「食育」「奉仕活動」の学びの土台は、「いのち」の大切さを知ることである。「食育」は1・2年生の生活科、3~6年の総合的な学習において、また「奉仕活動」は児童会やホームルーム活動において知識を得ながら、いのちの重さや人権の意識を学び深める。この学びにより、自分自身も他者も共に大切にされるべき人権を有し、お互いを尊重しながら社会が成り立っていることを体感していくことを目指している。今後、身近な事だけではなく広く世界に目を向ける「国際理解教育」の中でさらに深める。

Learning to do (為すことを学ぶ)

本校の「国際理解教育」は、互いの違いを認め合い平和な社会を築くために何をすべきかを考え行動することを目標にしている。現在、母胎修道会のネットワークにより得た知識を活かし、国内外の様々な立場の学校と交流を行うことにより、新たな発見と活動への指針が見いだせると考える。

Learning to live together (共に生きることを学ぶ)

「食育」ではいのちの循環により、自然界と共に生きる私たちの生活のあり方、自然界との共存を学び、日常生活に活かしている。また「国際理解教育」「奉仕活動」では、様々な立場の人たちと共に生きることを、海外交流や支援活動といった具体的な行動へと繋げている。このような学習の中で、学校内の小さな集団だけではなく、異年齢や学校外の同じ目的をもつ仲間を助け、協働していくことが重要であると考えます。

Learning to be (生きることを学ぶ)

人間だけではなく、自然界のいのちあるものは、すべてそれぞれの使命をもって生かされているものであることから、自分自身も同様に大切な存在であることに気付く。そして、一人ひとりに与えられた使命(役割)を持ち、より良い社会を築くためにその使命をどのように果たしていくかを考え実行へと移す力を育てる。

4. Type of materials to be used (使用する教材)

(1) 国際理解教育

- ① 教具・教材…パソコン、I-pad、プロジェクター、デジタルカメラ、茶道道具一式 等
- ② ウェブサイト…聖母被昇天修道会 <http://www.assumpta.fr/>
聖母被昇天学院国際交流・外国語センター

(2) 食育

- ① 教具・教材…デジタルカメラ、農機具、野菜・ハーブ種苗、調理器具一式 等
- ② 書籍…「箕面の豊かな自然を調べよう」 箕面市教育委員会 他
- ③ ウェブサイト…食育ハーブガーデン協会 <http://herb-g.jp/>
キャリアコンソーシアム <http://www.career-program.ne.jp/>
箕面アジェンダ 21 の会
<http://homepage3.nifty.com/minoh-tobimaru/index.html> 等

(3) 奉仕活動

- ① 教具・教材…清掃用具一式、募金箱、お米回収用箱、デジタルカメラ 等
- ② ウェブサイト…チャイルド ファンド ジャパン <http://www.childfund.or.jp/>
カリタス ジャパン <http://www.caritas.jp/> 等

5. Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

全学年における観点として、活動を起こす力(計画力・課題発見力・実行行動力・社会性・責任感)、学習する力(観察力・比較力・発表表現力)、課題を解決する力(判断力・解決力・評価力)をねらいとしている。1・2年生では【知る】ことから、自身が活動に参加し、感じた事柄を感想文や作品として表現させる。3・4年生では【関心を持つ】ことから、自身の努力目標を持ち活動に参加させ、学習のまとめを発信する機会(プレゼンテーション力)を設定する。5・6年生では【考える・行動する】ことから、学習のまとめの中で課題に気付かせ、他者や自然環境とのつながりの中で課題解決を考えさせる。以上の観点については、各学期末に担当者が、各児童の活動に対して文章表現(所見)で評価する。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)